

令和5年度生活習慣病検診等管理指導協議会 がん診療連携部会 議事概要

日 時：令和5年10月26日（木）19:00～19:30

開催方法：オンライン

【協議】

- (1) がん診療連携拠点病院等の指定更新について (R6.4 更新分)
- (2) がん診療連携拠点病院の新規指定について (R6.4 新規指定分)

<発言要旨>

【協議】

- (1) がん診療連携拠点病院等の指定更新について (R6.4 更新分)

○部会長

それではこれからがん診療連携拠点病院の指定更新について協議に入る。
事務局から説明をお願いします。

(資料1について事務局から説明)

○部会長

ただいまの説明についてどなたかご意見はあるか。

どこも緩和ケアについて、連携ができてきているようだ。疼痛についてのケアの仕方も、連携病院と行っているという話だった。

高梁中央病院の未充足だった要件に、手術部位感染のサーベイランスというのがあるが、今はあまり術後感染を防ぐということがないので、これを要件として入れておくというのはどうかという気はしている。ただ、要件となっている以上、サーベイランスを開始したということだと思う。

他に何かご意見があるか。

これ以上発言はないようなので、次の議題に移りたいと思う。

【協議】

- (2) がん診療連携拠点病院の新規指定について (R6.4 新規指定分)

○部会長

それでは、がん診療拠点病院の新規指定についての協議に入る。
事務局から説明をお願いします。

(資料2～5について事務局から説明)

○部会長

これについて何か質問等はあるか。

今まで拠点病院になっていなかったというのが不思議なぐらいで、川崎医科大学附属病院があるからかと我々は思っていた。当然条件としては問題なくクリアしているのではないかと思う。

○委員

資料3に、①または②を満たす必要があると書いてあるが、今後新たに①または②を満たす病院が出てきた場合は、これに準じて認めていくという県の方針なのか。

○事務局

方針というわけではないが、今回に関しては、①の条件を満たしているということで、推薦するという考えだ。

○委員

新たに申請が出てきた場合、今後は認めないという考え方でよいか。

○事務局

新たに申請が出てきた時は、またその時に検討することになる。

○委員

基準がぶれるというのはよくないと思う。この基準でいくのであれば、これで押し通さなければ、新たに申請が出てきたときにどのような説明をするのか、私としては非常に不安を感じる。

○事務局

本県としては、拠点病院への移行を希望している病院があり、指定要件のうち必須項目を満たしていることから、今回国へ推薦すると考えているので、基準がぶれているわけではない。

○委員

だから今後も必須要件を満たせば認めるという考え方でいいのではないか。

○事務局

それについては今後申請が出た時に、改めて委員にお諮りし、検討させていただく。

○委員

申し訳ないが、県の考えがよくわからないので、指摘だけさせていただく。

○部会長

診療実績の基準を満たす病院がこれから出てくるかどうかわからない。

問題は専門性に特化した病院である。例えば乳がんだけを治療するとか、それはどうなのかということはあると思う。

参考資料1の中で特に目立っているのが福岡県だ。福岡県では新しく拠点病院が指定されていると思うが、県としては地域の状況を考慮し、バランスをとっていくということではないか。

○事務局

今後、新規指定の病院が出てきた時は、そうした諸般の事情も踏まえ検討していきたい。

○部会長

県としても、岡山県全体が拠点病院でカバーされるというのが一番理想的ではあるが、それぞれ地域によっては変わることがあるかもしれないので、ある程度の最低限の基準は満たしてもらい、指定していくということだろうかと思う。それで良いか。

○事務局

良い。

○部会長

これ以上発言はないようなので、本日の意見を踏まえて事務局で手続きを進めていただきたい。

次第4に入る。その他事務局から何かあるか。

○事務局

特段事務局からはない。

○部会長

本日は、拠点病院を推薦するということが一番の重要な議題であったが、それについては納得されたのではないかと。何もなければ、これで本日の予定を終了させていただく。

本日は会議の円滑な進行にご協力いただき、感謝する。

以上